様式第２３号

借入状況等申告書

公立学校共済組合　京都　支部長　殿

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

申人	所属所名	京丹後市○○小学校	(TEL) ○○○-○○○-○○○○
	職　名	フリガナ	
	教諭	氏　名	公立　花子

※必ず本人が署名して下さい。

※印鑑は、貸付申込書に押印されるものと同じものをご使用ください。

次の内容に相違ありません。

この申告書の内容や他の添付書類に虚偽の記載がある場合、貸付事故（貸倒れ）が発生した場合、その他貸付規程に違反した場合、公立学校共済組合が当該事実を申込人が所属する所属所の所属所長に通知することに同意します。

＜当共済組合の借入状況＞　（単位：円）

貸付種別	区分	１回当たり償還額（毎月償還）	１回当たり償還額（ボーナス償還）
一般貸付け	新規・借換え・償還中	17,800	0
特別貸付け	新規・借換え・償還中		
住宅貸付け（介護除く）	新規・借換え・償還中	6,627	39,216
住宅災害貸付け（介護除く）	新規・借換え・償還中		
介護構造部分の貸付け	新規・借換え・償還中		
教育貸付け	新規・借換え・償還中		
災害貸付け	新規・借換え・償還中		
医療貸付け	新規・借換え・償還中		
結婚貸付け	新規・借換え・償還中		
葬祭貸付け	新規・借換え・償還中		
特例住宅災害貸付け	新規・借換え・償還中		
特例の既住宅貸付け	新規・借換え・償還中		
特例の既住宅災害貸付け	新規・借換え・償還中		
合計		(A) 24,427	(B) 39,216

この欄の1回当たり償還額は、今回申請の借替後の一回当たり償還額を記入すること。（Ｐ38の貸付資金・振込依頼書に記入の一回の償還額と一致すること。）

(注) 1　「区分」欄は、該当するものを○で囲んでください。

2　「１回当たり償還額」欄には、借換えの場合は借替え後の１回当たり償還額を記入してください。

3　住宅災害貸付のうち元金の償還が猶予されている貸付けに係るものは記入する必要はありません。

4　育休等猶予中の方は、猶予されている１回当たり償還額を記入してください。

5　育休等猶予金の倍返しを行っている方については、倍返しの部分を含めないで記入してください。詳しくは支部に確認してください。

＜当共済組合以外の借入状況＞　（単位：円）

借入先	借入区分	借入年月日	当初借入金額	償還年額
教職員互助組合	新規借入	○○年　○月　○日	1,000,000	120,000
	既借入	年　月　日		
○○銀行	新規借入	年　月　日		
	既借入	○○年　○月　○日	12,000,000	860,000
	新規借入	年　月　日		
	既借入	年　月　日		
	新規借入	年　月　日		
	既借入	年　月　日		
	新規借入	年　月　日		
	既借入	年　月　日		
	新規借入	年　月　日		
	既借入	年　月　日		
	新規借入	年　月　日		
	既借入	年　月　日		
	新規借入	年　月　日		
	既借入	年　月　日		
合計			13,000,000	(C) 980,000

互助組合や他の金融機関から借入がある場合は、１年間の償還額を必ず記入。他から借入がない場合はを「０」を記入

(注) 1　「借入先」欄には、借入先の銀行名、消費者金融名、団体名等、金融機関等の名称を記入してください。

＜金融機関等の例＞

銀行、保険会社、信販会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、信用金庫、労働金庫、労働金庫連合会、信用協同組合、消費者金融、住宅金融支援機構、都市再生機構、雇用・能力開発機構、沖縄振興開発金融公庫及び地方公共団体による住宅融資等、都道府県互助会等、個人、その他借入を受けている一切の団体等

※クレジットカードの一括払いによる支払は除く。

2　「新規借入」の「償還年額」欄には、当共済組合への貸付申込日後に借り入れる予定の借入金に係るもので、当共済組合への貸付申込日の属する月の初日から１年間の「借入先」欄に記載する金融機関等へ返済する金額（ボーナス償還分を含む）を記入してください。(例：４月２０日に当共済組合に貸付けを申し込む場合は、４月１日～翌年３月３１日までに返済する金額)

3　「既借入」の「償還年額」欄には、当共済組合への貸付申込日以前に借り入れた借入金に係るもので、当共済組合への貸付申込日の属する月の初日から１年間の「借入先」欄に記載する金融機関等へ返済する金額（ボーナス償還分を含む）を記入してください。(例：４月２０日に当共済組合に貸付けを申し込む場合は、４月１日～翌年３月３１日までに返済する金額)

＜申込人の給料月額＞

(D)	395,561	円

給料月額の欄は、申込みの時における給料（調整額及び教職調整額を含む。）を記入すること　Ｐ２参照

(注) 貸付申込書に記入した給料月額を記入してください。

必ず記入してください。この算式どおりにならない場合、貸付申込みを受け付けることはできません。

＜償還限度額の算出＞

(A)×１２	(B)×２	(C)	左の合計	≦	(D)×４．８
293,124	78,432	980,000	1,351,556		1,898,692

※この算式どおりにならない場合、貸付申込みを受け付けることはできません。

また、償還の確実性がないと認められる場合（債務整理について弁護士等に相談している場合を含む。）は貸付申込みを受け付けることができません。

一般貸付け等借入状況等申告書記入例